



# 柏原中だより

令和6年3月号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 269名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

## 「有終の美を飾る」～学校朝会講話(抜粋)より～ <2月27日>

校長 稲葉 正

今年度も残すところあとわずかになりました。今日は、年度末を迎える今の時期の心構えについて話したいと思います。

『有終の美を飾る』という言葉は聞いたことがあると思います。今、相談室の廊下にも掲示されています。

『有終の美を飾る』という言葉の語源となったのは、中国最古の詩集『詩経(しきょう)』の中にある「初めあらざるなし、克く(よく)終わること鮮なし(すくなし)」という一文だとされています。これは「多くの方は初めのうちは熱心に取り組むが、最後までやり遂げる人は少ない」という意味で、そこから転じて、『有終の美を飾る』は「物事を最後まで立派にやり遂げて成果を上げること」をいいます。

物事を途中で投げ出したり、諦めたり、いい加減にするのではなく、最後まで立派にやり遂げてもらいたいと思います。3年生はこれまで本当に立派でした。3年生は中学校生活、さらには9年間の義務教育を有終の美で飾って卒業を、1・2年生は今の学年やクラスの生活を有終の美で飾って進級を、してもらいたいと思います。有終の美を飾るために、3年生は卒業式まで、1、2年生は修了式まで、学年・クラス・個人として何をしなければいけないかを考えて生活してもらいたいと思います。皆さんが有終の美を飾り、4月からそれぞれ胸を張って新たなステージに向かうことを期待しています。

## 薬物乱用防止教室 <2月20日>

2月20日(火)に、2年生は、「薬物が心身に与える影響や、それに伴う犯罪の実態を知り、生涯健康で安全な生活を送るための知識を身につける」等を目的に薬物乱用防止教室を行いました。体育館で、学校薬剤師の先生から薬物の歴史・種類や依存症などについてのお話を聞き、途中、2年生職員によるロールプレイも交えて学習しました。ロールプレイでは①話題をそらす、②その場から逃げる、③同じ言葉を繰り返すという誘いを断る方法を2年生職員が熱演しました。薬物乱用防止の意識を高め、社会の一員としてルールを守り、明るく健康な生活を送ってもらいたいと思います。

--	--	--	--

## 命の授業 <2月27日>

2月27日(火)に、3年生は、「妊婦体験や赤ちゃんとの交流を通して『命の力』『命のつながり』を感じ体験することで、自己肯定感を高め、自分と他者の心と体を大切に思う心を育てる」ことを目的に命の授業を行いました。体育館で、前半は妊婦体験とお世話体験、後半は誕生学の講話とビデオ視聴をしました。妊婦体験では、4kgの水袋に生卵が入った手作りエプロンを着けて、靴紐を結んだり、階段の上り下りをしたりして妊婦さん

